

第239回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成30年6月11日(月) 11:00~12:00

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 6人
出席委員数 6人

(1) 出席委員の氏名 片山 貴之 (委員長)
小笠原 伸 (副委員長)
君島 理恵
青木 敬信
篠田 裕次
新井 啓泰

(2) 放送事業者側出席者 関根 房三(代表取締役社長)
佐藤 望(放送部長)
高賀茂 沙緒里(放送部)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) その他
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

5月18日(金曜日)放送の「青木製作所 presents アトムの YoungFellows」について、
試聴と意見交換をおこなった。

事業者：

2018年5月よりスタートした新番組。

栃木県を拠点に活動する『若手起業家(高校・専門・短大・大学生)』にスポットを当て、
彼らの“夢”や“アイデア”“情熱”を聞き栃木の輪・仲間を増やしていこうという番組。

毎週1人の若手起業家にスポットを当て、ゲストの考える企業や起業プランを詳しく伺っていく。

【 番 組 の 試 聴 】

- 委員：さわやかな番組で、若者の前向きな気持ちを感じることができてよかった。
前半の会社の起業や内容についての話から、後半の高校生らしさにスポットを当てた構成もよかった。
- 委員：会社の話を前半で紹介していたが、賞を受賞したビジネスプランの話や、起業家としての話や考えなど、もう少し具体的な話を聴きたかった。
- 委員：会社の事業内容を高校生本人に全部説明させていたが、ある程度まとめたものをパーソナリティが紹介したほうがわかりやすかったのではないかな。
- 委員：番組の趣旨、コンセプトはとてもよいと思った。
この番組を聞いて、起業に興味を持つ人が増えることで栃木県のバックアップにもなる。
- 委員：アシスタントの明里瞳さんは番組のテイストになじむよう、もう少し慣れてもらえたら。
声優ということで、これから番組に出ることで自身の勉強につなげて行ってほしい。
- 委員：とてもよい番組だと思う。聴くと大人も頑張らないといけないと思うし、同じ世代の学生の励みにもなる。
- 委員：パーソナリティ 2 人のやりとりが慣れていない印象だった。
2 人の声のトーンも優しすぎて、高校生に負けてしまっていた感もある。
- 委員：番組の最後に出てくる『偉人の格言』が唐突だったように感じた。
若者の起業家なので、過去の偉人ではなく、身近な現代の偉人の言葉を出してみるのもよいのではないかな。
- 委員：アトムさんは声質も落ち着いていて、読みもきちんとしている。
リポーターの時と雰囲気違って、インタビューの感じに好感が持てた。
- 委員：「誰でも若い人はそこに行ける」というのがこの番組の目的だと思うが、高校生にすごい・しっかりしているというのは番組の方向性として違うのではないかなと感じた。
- 委員：パーソナリティが無知を装っているような印象を受けた。
番組全体として「起業家」について勉強不足な部分もあるように感じた。
- 委員：後半の“若者らしさ”はいらないのではないかな。
本当の意味で、若者を支援する番組にしてほしい。
わざと若者らしさを引き出そうというのは避けてもらいたい。
- 委員：ビジネスプランコンテストには、若い人がどんどん出てきている。
番組を通してもっと広く伝え、最終的には日本全体を元気にしてもらえればと思う。

(以上)

(2) その他

なし

(3) 次回開催日程について

次回の開催を7月9日(月)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日

なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

(1) 放送 6月24日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内

(2) 書面 本社事務所に備え置き

(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項

なし